

5 消安第3570号  
令和5年10月3日

食品安全委員会  
委員長 山本 茂貴 殿

農林水産大臣 宮下 一郎

食品健康影響評価について

食品安全基本法（平成15年法律第48号。以下「法」という。）第24条第1項第14号、食品安全委員会令（平成15年政令第273号）第1条第1項及び食品安全委員会令第1条第1項の内閣府令で定めるときを定める内閣府令（平成15年内閣府令第66号）第3号の規定に基づき、下記事項に係る法第11条第1項に規定する食品健康影響評価について、貴委員会の意見を求めます。

記

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）別表第1の1の（1）のシの規定に基づき、次の飼料の安全性についての確認を行うこと

コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95275系統





# コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON95275 系統 (飼料) に係る食品健康影響評価について

## 1. 趣旨

「コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON95275 系統」については、令和 5 年 6 月 21 日付けでバイエルクロップサイエンス株式会社から組換え DNA 技術応用飼料の安全性確認の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

## 2. 評価依頼品目の概要

本品目は、トウモロコシのデント種 LH244 系統を宿主とし、コウチュウ目害虫への抵抗性を持たせるため、*Brevibacillus laterosporus* 由来の *mpp75Aa1.1* 遺伝子、*Bacillus thuringiensis* 由来の *vpb4Da2* 遺伝子及びウエスタンコーンルートワーム (*Diabrotica virgifera virgifera*) の *DvSnf7* 遺伝子のコード配列の一部と一致するように設計された部分配列を含む *DvSnf7.1* 抑制カセットが導入されている。

## 3. 付与される形質の概要

導入された *mpp75Aa1.1* 遺伝子及び *vpb4Da2* 遺伝子により発現する Mpp75Aa1.1 タンパク質及び Vpb4Da2 タンパク質、並びに *DvSnf7.1* 抑制カセットの発現によって産生される二本鎖 RNA (*DvSnf7 dsRNA*) により、コウチュウ目害虫に対する抵抗性を有する。

## 4. 利用目的及び利用方法

本品目の飼料としての利用目的や利用方法は、従来のトウモロコシと相違がない。

## 5. 海外の状況

欧州食品安全機関 (EFSA) 等へ申請を行い、現在審査中である。

## 6. 今後の方針

食品安全委員会からの食品健康影響評価の結果を得た後、官庁報告等の手続きを進める。